（明治四十一年十二月二十三日第三種郵便物認可）　日刊　月曜及祭日之翌日休刊　（明治四十五年二月十三日）（火曜日）　第八百八十五號　（一）

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金十七錢▲網版欄特別廣告五號活字七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久敏一
發行所　京城西小門通　京城新報社
電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川京町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町十番地

●溫突語迷　　權太生

◎頃日一ヨボ來る、例の鎖附きの皮巾着相應の膨み有り、試み個中に幾何を藏するやを問ふ、アボト二お金では無いよと答へて端書大の紙片數枚を取り出せり、而して曰く之れを持て居れば何處に行つてもチョッソよ、と則ち披き見れば、本願寺の信徒の章にして住所年齢姓名等の記載あり、而して猶ほ別に基督教會の證と天理教の物とを併せて所持し居れり、之れがあれば何處に行つてもチョッソよ、と頗る滿足得意の色を爲せり、吁、果して然るか、果して然る乎、彼等の信仰は鬼門除の護符の爲め也、身元の證明書也、而も彼の僧侶傳導師は此理を知らず、徒らに信徒の多數を誇りつゝあるは實に臍茶の至と云ふべきに非ずや。

◎果然、三教の合同はヨボの懐中に於て實行せられ成就せられたるを見る、彼等の腦裡固より一片の宗教的求道心の存するものにあらず、故に信仰上の情熱なんぞ勿論之れ存るの理なし、佛教よし、耶教來れ、天理教も金光教も亦一方の鬼門を守護し能ふ可しとすれば之れ亦頗る結構たらずんばあらず、と斯くして彼等は愚昧なる僧侶牧師輩の求めに應じて熾んに摘み喰ひを爲しつゝある也、而して翻つて竊かに思ふ無謀、燥狂、不明等と總ての詬罵と嘲笑とを以て葬り去られたる當局者の三教の合同及び其利用策は實に此ヨボの宗教觀を逆に應用し外道、異端、偶像高天原など各自殘驅を擁して相閲ぎ相欺くの愚を止め更に一層明白にして且つ正直なる、宗教とは愚民の智惰を制するお呪ひ也、てふ一大主義の下に其大同團結を求めたるものに非ざるか。

◎宗教には國境なし、況て窮る者と貴きものとの間隔あらんや、と然れども开は甚だ巧妙なる一の詭辨に過ぎずして過去の歷史と現在の事實とは明かに其然らざるを說明して餘りあるを見る可し、天帝エホバの名によりて征服せられ、虐殺せられたる碧血の慘劇史又之れを說くの要なし、戰時には戰爭基督あり、國民の敵愾心を挑發すべき煽動佛教あり、獻金奬勵の神道あり、斯くして猶、宗教は國家的權力と政策との上に超然たるもの也、と云ふを得べき乎、權力に諛ひ、當者に迎合し自らも亦饒慂りたる財寶の蓄積に汲々たる者、之今日の牧師傳導師の徒輩に非らざる乎、御本體の金佛を典して迄も酒色の慾を漁んとしつゝあるは今日の坊主に非ざる乎、而して神道家なるものは一種の講釋師也、一定の聲調を有せざる浪花節語也、唯笏を以て張扇に代たる而已。

◎既に如斯、改めて今更利用せられる迄も無く、常に御用を承はるを以て無上の光榮と爲し、指揮勉勵權勢と金力とに兼ね仕へて日も夜も猶ほ足らざらんとす、然るに今日、何の矛盾ぞ、床次內務次官の宗教利用の聲言に對して隨喜の涙も流さず、知己の恩にも感ぜず生意氣千萬にも宗教の權威を云爲し、却而反噬的の態度に出でんとは、脊負つてやると云ふに抱いて呉れと甘へるは小供心として一層に可愛い心地もすれど、成人振つた小利巧は口の利樣實に小面憎き賣僧共に非ずや、旅行券の必要なるは行く途に障碍物あるが爲めなり、鬼門除けの護符は七殺金神のお呪ひにして身元證明書は善人をも尚ほ泥棒扱ひする警察などのあるが爲めに所持せざる可からず、然らば人間宗教の必要は何の故ぞ、權太は斷じて云はんとす、之れ無智と迷信の存在するが爲めなりと。

文苑

◉丹葉さんへ　　野崎　小蟹

備後俗謠、
唄ふとも備後生れなや、
ないはいな、
東男の、
わたしじやものを、
思ひなほして、
また亦來やしやんせ。

どろつくに、
三分のりくつ、
あるなれば、
空吹風と片頰に笑みて、
一代にたつた一つの、
名吟欲しと、
常住坐臥にも、
俳諧の事、
忘りやせぬ、

俳句屋の、
にぶい頭と、
そしられて、
あたしや、
たまねが戀しうなつた。

飛んで行きたや、
仁川までも、

俳諧の話なら、
三日や四日、
食はんでも、
寢なんでも、
わたしや苦しう思やせぬ、

戀しなつかし、
たまねの家に、
わたしや遊びに行くわいな
（完）

外事一束

▲佛國● 軍艦卅八驅逐艦五十二潛航艇十八隻を八年內に造り海軍を擴張すと
▲最近● 英國獨逸に對し友愛好意を表し親獨を計るも歐大陸に於ては豫想に
▲正反● して之れ英が獨に軍備擴張の口實を與へざる策略なりとの評起る在
▲英帝● 及皇后は六日聖ポール寺院に謝恩會を擧げ其の光景頗る壯嚴を極む
▲獨逸● 皇弟の第一王子錫蘭を經て漸次東洋各地を訪問し見學に資すべしと
▲巴威● 議會總選擧結果は自由黨社會黨共に勝利を得るも農民黨最も振はず
▲內亂● の爲擧國チワ、州在留日人は商品を掠奪され生命危險に迫りつゝ在

梁川庄八　　小金井蘆洲演

第百回

甚『俺は親父が死んで俺の代になつてから、ア、情けねへ斯んな腎を絞るやうな御政治の許に、一生稼いで居ても濡らねへがと思續けて居る內に、噂あには死なれ餓鬼には別れ、身寄り便りもねへ木から落ちた何とやら同樣の、たつた一人になつて了つた此甚之丞、儘よ斯んな面白くねへ處に居るよりか身体の利く間は心の儘に、日本中を經媼て神社佛閣へもお詣りでもして歩かうと思ふから、生れた國を打捨つて飛出してから、行く先々で梁川樣の御噂を聞くたびに、涙も流すが又御評判の宜いのを聞けば嬉しくて堪らねへ、噂に聞けば上方へ御乘込になるとの事だから、緣あつて若しも途中でお目に掛つたら、御先代樣への親父の御恩報じにせめて庄八樣の御荷物なりと、擔いでなりと御供でもして、泊りの泊りの旅籠屋で、出來ねへながらも足腰を揉んでなりとも差上げてゑと思つて居る位なんだ、此野郎何にも知りもしねへで、好な勝手な事を吐かしやがつて憎い奴だ、今一遍言つて見ろ……擲殺してやるから』と涙を流し眞實面に溢れて、恐ろしい權幕に物語りました、上方者は恐縮して了いまして　上『ヤアー何うぞ許しておくんなはれ、最前も云ふ通り、私系も別に意趣意恨の有てと云ふ譯やあありはへん、余り乘合のお方々が偉い／＼と褒めすぎるよつて夫なや話に花が咲いて面白うないよつて、態と惡う云ふた丈の事でな、別に惡い了見おやあれまへんよつて了見してな、此通り詫びてますがな、勘辨してなおくんなはれ』甚『ウム尤く惡かつた氣がついて詫るなら許してやるが』ご漸く手を緩めて胸倉を離して跡へ退つた、サア是を聞いて居た乘込の者は、又元の通り『どうも梁川と云人は偉い人だ、大層な方だ』と、口々に褒め立てる、艫の所で聞て居た梁川庄八『ア、情けは人の爲ならず、父が僅かの情けを掛け遣したのを忘れずに、其子の代に至るまで斯の如く恩に感じ、吾が身を思ひ呉ると云ふは忝けない、コレ甚之丞とやら吾等が梁川庄八であると名乘つてやりたいが、他の者が困るであろう、と我慢をして居る中に、船は勢州桑名に着きます、乘込の者はゾロ／＼上つて散々バラ／＼に別れまする、一番遅れて梁上つた川正國、甚之面の後をつけて行つたが、桑名の松並木へ掛つた時後ろから呼び止めた　庄『コレ／＼今宮の神戸から一つ船に乘合はした者であるが、一寸待つてくれ』甚『ヘエー、是は何うも立派やかなお武家樣で、些つとも存じませんで御無禮を致しました』庄『イヤ／＼無禮所ではない、其方が船中乘込の大勢の者に向ひ、梁川庄八の履歷を物語つて居つたのを聞いて居つた』甚『アレー誠に何うもお恥かしい事で』庄『イヤ恥入る事はない、能く物語つて呉た、父が僅かの情けを掛けしを忘れずに、伜の其方迄が生れた土地を捨て、諸國を經歷して、緣あらば庄八に面會して其供をしようと云ふ、其志しは誠に忝ない何を隱そう梁川丑兵衛政繁の遺子庄太郎、當時庄八正國であるぞ』甚之丞大地へピッタリと坐つてワアーと泣出した、甚『マアー然うでございましたか貴方樣が庄八樣で在らしやいましたか夫とは知らず船中で旦那樣のお噂を致しまして、誠にお恥かしうございます先づ／＼お變りもなく御繁昌でお目出度う存じます、就まして は擽ての願ひでございますから、何のお役にも立ちますまいが、お荷物なりと私にお持たせなすつて下さいますまいか』庄『イヤ最前其方が物語りを聞いて、直ぐにも名乘つて遣したかつたが、他の乘込の者の手前を兼ね默つて居つた、唯一人で道中致すも誠に淋しく思ふ所であつた、幸ひ今日より其方供を致してくれ』甚『誠に難有うございます』と喜々として此處から、梁川の荷物を請取り供を致します、實に忠實しく能く仕へまして、泊りの旅籠に着きましても、痒い處へ手の屆くやうに世話をして、夜は遅く眠り、朝は早く起き誠に行屆いて居りますので、梁川も宜き供を得たと大きに喜び同道を致す、山田へ參り內宮外宮の參拜も濟し、歸り掛け、松坂の城下に參つて、本町の長崎屋嘉右衛門と云ふ宿屋へ泊りに着きました、例に依り一風呂浴みをして、夫から嗜好める肴を誂へて酒を飲み、甚之丞を對手に四方山の話をして夜の更けてから枕に就きました



第885호 1912. 2. 13.

東京電報

●學習院女子部の全燒 十一日朝麹町區永田町學習院女子部は紀元節拜賀式終了後發火し同女子部を一時に全燒せり近接せる閑院宮御邸も一時危險に陷りしも軍隊の出動により辛ふじて無事なるを得たり尚北白川宮御邸を始め獨逸墺西亞濠洲國の各大公使館舍附近等々以て其困難名狀すべからざるものありしが女子部のみにて鎭火せしは不幸中の幸と云ふべく消防夫の負傷者六名を出せり

●外客優遇設備 鐵道院は日本郵船會社と聯合し外國旅客優遇の目的を以て國際間の交通機關を設立せり

●乃木院長謹愼 乃木學習院長は別報女子部燒失に恐懼措く能はず目下謹愼中なり

北京特電

●妥協成立奏上 袁世凱は十一日參內し南京政府と妥協成立したる旨奏上せるを以て退位の期愈々迫れり

雜報

●議會と植民地豫算 十日午前十時開會の朝鮮總督府豫算の討議に入り加藤政之助氏より本豫算は本年度豫算の全部に對し削減を加ふべしと建議すべきを以て從つて本豫算に對し協贊を與ふる能はずと豫算全部否決說を述べ次で水品氏は全體の豫算に就ては贊成なるも東拓會社が自費に窮して植民事業に對し誠意を缺ける嫌あるは甚だ遺憾なるを以て政府は今後同社の監督を嚴にし其成績を擧げんことの警告を與へんことを望むと提議し次に加治壽衞吉氏は本員等は本年度豫算特に此特別計畫に對し大に贊を加ふべきことを言明すと述べ松尾寛三氏は本員は東拓會社に就ては其存立の必要を認め却つて移民事業の發展を妨ぐるの事實あるを認むと述べ長谷場氏は拓殖法律を改廢する能はず故に水品氏の提議の如く警告に止め本件の決議として總會に報告しては如何と謀り松尾氏之を承認し水品氏より朝鮮沿岸及河川航路補助費は四十五年度に於ては十八萬五千圓以內四十六年度二十六萬三千圓以內四十八年度六萬七千圓以內に補助するに修正したしとの動議と荒井政府委員の討論の結果原案可決となり水品氏は專賣輸入鹽に對し直接拂下を專賣局と協定し個人をして利益を專斷せしむる嫌あるを改むべしと政府に警告を與ふべしと提議し分科會の決議と爲して總會に報告することゝし採決の結果原案可決次で關東州及樺太豫算は加藤氏より反對ありたるも是亦多數にて原案可決して同日午前十一時五十分散會せり

●鮮銀の新借入金 朝鮮銀行にては昨冬市原總裁東上の節賀府の諒解を經て二百萬圓を日本銀行より借入るゝことは既報したるが尚此以外に於て先日三島理事東上し我が政府より三百萬圓を借入れ既に其取引を完了したりと

●官制改正發表期 朝鮮總督府に於ける官制改正及行政整理の發表は本年度替りの當日即ち四月一日を以て發表さるべしと云ふ

●軍司令官以下交迭 十二日午前十時陸軍省發寺內總督に達したる公電によれば上田軍司令官には今回停役年限滿了に付陸軍大將に昇任し後備役に編入し同時に安東第十二師團長以下左の如く交迭來る十四日發表さるべしと

任陸軍大將後備役に編入 陸軍中將男爵 上田有澤
補朝鮮駐箚軍司令官 第十二師團長陸軍中將 安東貞美
補第十二師團長 第十八師團長中將 山根武亮
補第八師團長 第十二師團長中將 小泉正保
補步兵第二旅團長 步兵第十旅團長少將 松川敏胤
補第十師團長 步兵第二十旅團長少將 蠣崎富三郎
補步兵第二旅團長 步兵大佐 白井二郎
任陸軍少將補步兵第二十八旅團長 由良要塞司令官少將 大澤界雄
任陸軍少將 步兵大佐 竹內武
砲兵大佐 佐藤鋼次郎

●新任軍司令官略歷 軍司令官安東中將は長野縣士族にして明治三年始めて大阪兵學寮に入り爾來日清戰等に從軍して偉功あり步兵第十九旅團長として昇進第十師團長の任に就き戰役の功により勳一等旭日大綬章を賜はり華族に列し男爵を授けられ四十三年八月第十二師團長より朝鮮駐箚軍司令官に榮轉す當年五十八歲なり

●鑛業所新採炭 平壤鑛業所一ヶ年の收入は約三十萬圓にして輸送したる炭量は十萬噸なるが現在の炭田にて十五萬噸採掘の見込充分あるも斯る數量を採掘するに於ては徒らに鑛口を荒らすの虞あり依つて既報江東郡に於ける採炭を試みつゝあるが同郡の炭田にして果して豫想の如き採掘を爲し得るにいたらば優に多量の石炭を輸出するにいたるべしと云ふ

●司法官會議終了 過般來開會中なりし司法官會議は愈々十二日午後を以て終了し各院長檢事長等は一二日滯京の上夫れ〳〵歸任すべしと云ふ

●郵便規則一部改正 朝鮮總督府郵便規則の一部改正十三日の官報を以て發布され即日より之を實施す

●京畿道府尹郡守會議 既報の如く京畿道管內に於ける府尹郡守會議は十二日午前十時より道廳樓上に於て開會されたるが道長官の地方事情に就ての諮問及各府尹郡守の報告あり午後四時散會せり

●京城教育會例會 京城教育會例會は來る十四日午後七時より壽町商業會議所樓上に於て春期第一回の例會を開催すべしと

●商業會議所の總會 京城日本人商業會議所總會は十二日午後七時より同會議所樓上に於て開會『日鮮人取引改善の件』外二三件に就き協議決定し其の筋に建議及請願することゝなし十時閉會したりと

●一月中の郵便局受拂 京城郵便局に於ける一月中の受拂狀況を聞くに受は郵便爲替十萬七千七百十九圓九十九錢外國爲替二千二百三十一圓八十一錢郵便取立金七千六百二十圓二十一錢郵便貯金一萬三千六百十三圓十二錢振替貯金三萬九千〇七十圓九十七錢歲入金六萬八千百二十七圓五十三錢雜部二十二圓七十四錢にして拂は郵便爲替二萬六千三百四圓五十九錢外國爲替二千三百七十圓六十六錢郵便取立金一萬二千八百七十二圓十七錢郵便貯金九千三百六十五圓十七錢振替貯金三十七萬四千九百九十六圓五十七錢歲出一萬八千四百四十八圓三十二錢雜部八圓年金恩給三千三百三十五圓五十錢なりと

●一月中の京城商況 當月は大節季の後を受け初荷に於て多大の取引ありたるのみにて其後捗々しき荷動きなく大勢は活氣なきが如きも前年の同期に比し內地人の出入頻繁にして土產品の賣行頗る多く其他洋酒及び舶來雜貨、日本酒、吳服類は平均四割五分の賣行增加を見たり、罐詰類、日用雜貨、海產物、綿布類、砂糖、石油等は平均三割二分方の賣行增加を示し防寒具に於ては前年より氣候溫暖なる爲め著るしく賣行減少し各商店共該品の始末に困り居るものゝ如し建築材料及土工用具は時候柄不振の狀態にあり木材類に於ては捗々しからざるも前年の同期に比すれば約一割五分方の賣行增加を見たり其他諸品に於ては人口增加に伴ひ購買力は僅に一割五分乃至二割方の增加を示せるが如し輸移出貨物は前年の同期に比し一割六分七厘强を增し輸移入に於ては十割六分三厘强の激增を示せり米穀は金融組合等の活動に依り地方農民の經濟的觀念の進步及び地主より租稅を徵收することになりたると米價の騰貴とに依り幾分農家は富裕なるが如く爲めに從來の亂賣に比し米穀の出廻捗々しからず僅に正米組合に於て四千五百石各精米業者に於て約三千六百餘石の手合せありたるのみにて需給共に手控の傾向を呈せり牛皮は阪地に於て製皮の賣行不振なると混皮の出廻り多く自然品質を落したるため需要者側に於ては買入手控の模樣なるを以て市場は極めて閑散なり要するに當月は日鮮人共に一般商況は統計上に於て漸次進步しつゝありと雖も是れ入口及び同業者增加したる結果にして各店の賣上に於ては大なる增加を見ず二三の物品を除く外目下のところ稍や沈靜なりと云ふの外なし然れども市場の氣配は幾分活氣を帶びて越月す(京城日本人商業會議所調査)

●大連と朝鮮貿易 滿州と朝鮮とは離る可からざる關係を有し殊に商業上益々密接ならんとするの傾向あり今滿州の呑吐港たる大連港より朝鮮に向け輸出せし物品を示せば四十四年に於て豆粕五十噸穀類千三百二十六噸雜品千三十七噸器械器具五噸食料品九十六噸燒酎七噸豆油二千百七十噸油類二十三噸革類三噸麥粉四十五噸寶百六十八噸蠟燭百十五噸石材三十三噸石油及空罐二千六百三噸合計一萬六千六百八十六噸に達し又朝鮮より大連港に四十四年中に輸入せし物資數量を擧ぐれば(單位は噸)穀物三五八、雜品一八〇、器械器具五、食料品一六八、滿鐵社用雜品五二、茶三八、織物八、石炭四、油類一八六、革類二四、藥品八、砂糖二、棉布四、陶磁一一、紙三九、味噌七一、醬油四五、寶類一九九、米一六八五五、石油六、木材八、麻袋三〇、金物二、石材二、石油及空罐六三七、合計一九〇一二以上の外四十四年七月以降朝鮮に向け大連より輸出せし食鹽は七千二百七十五噸五三に上れりといふ

●淸國視察團鐵道運賃割引 京城日本人商業會議所主催淸國視察團組織計畫に就ては既報の如くなるが其の後南滿洲鐵道會社及び朝鮮鐵道管理局より滿鐵運賃を五割引となす旨回答し來りたりといふ

●納稅督勵會の奬勵金 既報京城民團の計畫に係る納稅督勵會は昨今其の筋に向つて請願中なるが右奬勵金は五等とし一等は三十圓二等は二十圓三等は十五圓四等は十圓五等は五圓なりといふ

●土地調査と諭告 土地調査局にては本年三月初旬より十二月終日迄各道に亘り(忠北を除く)局員を出張せしめ三角測量に着手するに付ては出張に際し當地方人民の冷淡にして或は甚だしき誤解を招く等の事あるを以て一面內務部長官警務總長より管下各官公署に從前の振合により夫々人民に對する諭告方を依賴し又一面副總裁より直接各道府尹、郡守、警察署同分署及同事務を取扱ふ憲兵分遣所、派出所等へ之が諭告方及出張の際必要の件は便宜を與へらるべき樣依賴すると共に土地調査測量事業實施上所要の事項を印刷して夫々配付したり

●韓海漁業會社新事業 韓海漁業株式會社にては咸鏡北道新浦港に出張所を開設し其事業として約六馱を乾燥する改良明太魚乾燥場を架設したるが尚本年度より資金約三萬圓を投じ明太魚委託販賣、明太魚に對し貸金、漁網漁具賣買、明太魚漁場調査、明太魚乾燥架、荷造改良試驗、石油發動機船新造運搬救助等の事業を計畫しつゝありと

●面長の貧民救助 京城府龍山面內朴龍山面長は每年同面內の赤貧者に對し施米救助を爲し來りしが本年も去る十一日の紀元節をトし赤貧者二百六十名に對し一名三升づゝの白米を施したりといふ

●京城府の徵稅好果 京城府にては四十四年度納稅成績の最も不良なる部面に此程督促の爲め吏員を派出したるに二月一日より七日迄僅か一週間內に恩平面にて六百五十七圓延禧面にて三百二圓七十五錢豆毛面にて二百十八圓九十錢の納稅あり府廳四十四年度徵稅成績上家屋稅八割一分酒稅六割四分以上の好果を來すを得るに至れりと

●博多大連航路說 大阪商船は豫て從來の長崎大連線の外博多を起點として嚴原、釜山、木浦、仁川、鎭南浦等を經由する大連航路開始の計畫ありて過般商船會社員某は福岡に出張し市と協議する所ありたりといへば近く事實となりて現はるべきか

●柴代議士の入京 中央派所屬代議士柴四郎氏は十一日夜南大門驛着入京巴城館に投宿したり

●王妃殿下の御不快 昌德宮李王妃殿下には昨夜來御不快にて御靜養中なれば十二日の德壽宮李太王殿下へ歲末御挨拶は中止されたりと

●神藤代議士の入京 代議士神藤才一氏は十一日入京浦尾旅館に投宿せり

●柴代議士の出發 入京中の代議士柴四郎氏は十三日午前南大門發歸東す

●民長の引籠と出勤 古城京城民團長は病氣の爲め二三日來引籠中なりしが十二日より出勤せりといふ

●岡崎氏の公園視察 岡崎日韓瓦斯會社專務取締役は三月十日東京に於て開かるゝ總會に臨み歸京後公園視察のため滿洲に赴き大連外數ヶ所の公園を視察すべしといふ

●岡日韓瓦斯支配人の歸京 馬山に赴きたる日韓瓦斯の岡支配人は十二日夜歸京す

●土屋土地調査課長 土屋土地調査課長は八日より水原南陽、安城、陽城地方測量事務視察の爲め出張したるが十五六日頃歸任の筈なりと

●門松主計轉補と後任 今回一等主計に昇進せる門松氏は近衞步兵四聯隊付に轉補せられ其後任として同聯隊付關二等主計轉補せらる

●土地收用令の適用 黃金町道路取擴げの爲め竹園町にある淸國人二、內地人一の所有土地に對し十日附を以て土地收用令を適用する事に決せりといふ

●朝鮮貴族會館の祗受式 朝鮮貴族會館に於ては十一日紀元節の佳辰をトし午後一時より過般開館式の際天皇陛下より恩賜の淸酒の祗受式を行ひ午餐會を開きし後散會したり當日貴族の出席者三十餘名なりと云ふ

●半島鑛業振興上の意見(其六)

△某事業家の談 自家の經驗を以てすれば朝鮮鑛業の振興策は銅鑛の經營にある銅山は從來朝鮮人等に依り余り重要視され居らず又た今日と雖も其の發見せられたる鑛區は極めて僅少である併し稍々專門技師に就いて訊し疏は予が實驗からすれば朝鮮鑛產物中金を例外として銅山經營より有望有利なるは他に決して之れなしと斷言し得るのである銅は一時內地と朝鮮とを問はず其の價格非常に下落したることあるを以て內地に於ても余り之れが稼行の盛ならざりし觀あり朝鮮に於て其の實微は殊に甚しく最近數年前までは之れが稼行を試むるものが殆ど之れなきが如き狀態で自然鑛區の發見されたるものも少なかつたのであるが其後調査を進むるに從つて朝鮮に於ける銅鑛は極めて有望なるものあり其の鑛脈の如き斷絶性のものだと稱せられたこともあつたが必ずしも然らざるを確保せらるゝに至りて朝鮮銅山事業は內地人資本家に依りて漸く矚目せらるゝあり今日にては其の採掘が未だ盛大なりとは稱すを得ざれど有望なる鑛脈鑛山も多少發見せらるゝに至り尚は益々前途有望なる觀がある予が現に經營しつゝある銅鑛に就ていへば銅鑛採掘は金鑛事業に比して經費を要すること極めて少く金鑛經營の夫れの如く必ずしも大規模の組織を必要とせざるものあり只朝鮮に於て聊か不便なるは附近に溶鑛場なるものゝ設備がない爲め內地に於ては二分若しくは三分の含銅鑛にても稼行引合ふものたるに反し朝鮮にては少くも六七分以上の銅を含むにあらざれば其の稼行を引合はざらしむるにあることであるが若し將來所在の鑛山附近に溶鑛場等の設立せらるゝに於ては二三分前後の銅を含む鑛石にても容易に利を見るを得る譯となること今日大和吉野郡地方の銅鑛割合に顧みても明である且つ今日の朝鮮の狀態に於ても一割若しくは一割七八分以上の割合なる銅鑛は決して之れが採掘を困難とせぬのであるから此種含有分多きものは假令溶鑛場等の設備なしとするも其の經營を簡易有利ならしめんには之れを大阪地方の溶鑛場に送れば尚ほ且つ七八圓以上十圓迄の利益は優に之れを見ることが出來るのである

公人私人

▲篠顆次郎(東亞煙草大連支店長)山本
▲柴四郎(代議士)十一日巴城館投宿
▲久水三郎(仁川府尹)同天眞樓
▲吉野又四郎(滿鐵工作課長)同
▲松水武吉(平南道長)同京城ホテル
▲富家正義(開城參政局技師)出發開城

▲京城手形交換高

	金額	枚數
二月十二日	二〇八、一四五、六五〇	七三四

▲茶袋▼

衆議院に於ける明年度の總豫算も、多數黨即ち政友會の盲從によつて、一厘一毛の削減を見ずに通過するの形勢を示して來た、サリとは帝國議會の腑甲斐なさ加減呆れるの外なしである△國民黨や中央派が豫算天引論を主張し、削減費目の成案を示さぬのも少々突拍子であるが、政友會の豫算全部盲從に至つては、眞に國民を馬鹿にした極みである、現に朝鮮總督府豫算中にも充分削減すべき余地の存在せるにも拘はらず、其儘通過させるとは何といふ無責任の事であらうか△朝鮮總督府豫算中機密費や交際費だけでも三十二萬三千圓に上つてをる、之が內譯を示せば二十萬圓(朝鮮總督府機密費)五萬圓 同警察機密費)二萬圓(司法裁判所機密費)三萬二千八百圓(總督府宴會費)二千圓(外事局長交際費)一萬二千圓(朝鮮總督交際費)七千圓(政務總監交際費 尚此外に陸軍省の定額中より支出せらるゝ憲兵隊機密費數萬圓を合すれば殆んど四十萬圓の巨額に達してをる△これを臺灣總督府機密費合計十六萬圓(無論交際費も含むでをる)關東州都督府機密費六萬圓(交際費共)に比すれば、實に非常な違いではないか、斯る無意味にして巨額なる機密費に對して何等の斧鉞を加へないとは、豫算委員諸士の迂濶なる實に話にならぬ△シカシ、本紙繼續欄にある如く、豫算分科會で、朝鮮始め各殖民地の豫算何れも原案通り可決となつたから、これで各當局者も一と安心であらう、序でに東拓の重役連も枕を高うすることが出來る譯さ。

●述懐談　本日休載

宗訪匠錄（六）

香茶生花琴三味線踊や唄の師匠巡り

義太夫　竹本楢梅丈

松太郎さんの弟子になつてから一心不亂に修業しますること一年餘り自分のことを自身の口から賞めるのも妙ですが是れでもなか／＼の美聲でしたので師匠も好い弟子を手に入れたと思つてかソレは叱言も隨分謂はれる代りに敎へ方も他の弟子とは大分異つて居りましたので子供心にも難有いと思つて勉强したのです今でこそ逆櫓とか布引とか云つた大物が語りよくなりましたが其當時は極めて細い聲でして世話物の方が口に合つてゐると師匠から兩親に話されたこともありました恁した具合で私も一生懸命になる師匠も手を執らんばかりにして敎へて下さるので日に增し技倆も上達つて來るものですから兩親の嬉しさは又格別で一人の師匠に附けて置くのが遲緩かしいと見ゑて遂に八代目の

竹本染太夫鐘太夫

なども師と仰いで十三歳の時から二十三四歳迄はミッシリ稽古を勵んだものですから什麽やら一人前の義太夫となり兎にも角にも大坂で楢梅と云へば花友の娘かと人樣の口に上る樣になりましたのは自分の口から謂ふのも妙ですが一心不亂の修業と師匠の仕込みによるのは申すまでもありませんが兩親殊に父親が大の義太夫狂でありましたからです私が師匠の許へ通つて居る中は毎日の如に送り迎へをして宅に歸りまして復習の時には傍にチヤンと聽いて居りまして節廻しなどの異つたところがありますとソレは／＼師匠よりも烈しい叱言を喰つたものでしたソレに就て面白いことがありました丁度十五六歳の時でしたか大坂

御池橋の寄席で竹本鐘子と一座

して堂摺連の氣を揉ましたことがありました大切が忠臣藏の七段目の總掛合と云ふので鐘子が平右衞門私がおかると云ふ役割で非常の大受けでしたが平右衞門がおかるに斜つてから『コリヤまだ悔りすな』諸出されて添うと思ふ勘平も腹切つて死んだわやい』と言つて聞かせた時おかるが『ヤアヤア／＼それはまあほんかいな』と驚き入る一段が何うしても『キイ／＼』聲になつて甘く行かなかつたので私が床から下りるのを待つて親父がサッサと手を引いて宅に歸りまして散々叱言を喰つて其の夜は泣寢入をしました翌朝は例のヤア／＼の稽古に餘念なく夕ぐれになると父親に連れられて悄々御池橋に出勤しましたが時刻が來たので床に上つた腹の中では今夜こそは首尾よく喝采を博さんものと己惚半分前夜の處に行くと又調子外れになつて了ひました此の時丁度天井から降つたか床から湧いたかテカ／＼光る丁髷親父が私と鐘子さんの間にセリ込んで胡座を組み眼玉をパチつかせてゐるので鐘子は呆氣に取られる私は顏色を變へて眞物のおかるに成り澄まし其丁髷爺に縋りつきコレの一とばかり泣き沈むと云つた騷ぎ譯を知らん客は喫驚して總立ちになり席中大混雜を極めたので故障これあり今晩は是れ切り……と云ふことになりました夫れ以來は己惚れを愼んで勉强したので大した失策も出なくなりましたが大阪ばかりでは修業も出來ないから一番

神戸に乗り出し

て義太夫仲間をアッと謂はせ樣と今から十五六年前のこと兵庫に行つて三年程家を持つて寄席へ出て居りました其中に東京にゐる知邊から上京は何うかと屢々勸められますので例の親爺に相談しますと一も二もなく贊同したので愈々行くことになりまして

二十四歳の春花のお江戸

に出掛けました東京に着ますと知邊の世話で翌晩から

吾妻橋の東橋亭

に出勤することになりましたが客筋がサッパリ判りないので時代物ならばと思つて『源平布引瀧四の切』を出しましたが大坂上りの娘義太夫が初ての御目見得と云ふので客足も多く席元も滿足でした滯京二年は只大持にもてまして面白可笑しく暮してゐました……と語り續けて一服小皺の寄つた顏の上に『若くなりたい今一度』と謂つた色が見ゆるソコへ

松葉の茶羅丸

が來た可愛い妓だ話が途切れてゐるので一萬圓問題を向けると厭やだッ……とばかり逃げ込んだ師匠は駒助に衣類が五千圓に芋畑を千圓出して買ふのかとかなんとか揶揄ふと眞赤になつてキヤッ／＼騷いでゐる

●正米組合の不正手段

▽日鮮人荷主を苦む

京城正米組合なるものあり米穀委托賣買を業とし殆んど獨占的なるを以て種種の不正手段を弄して地方の日鮮人荷主に迷惑を蒙らしめ居ることは屢々耳にする處なるが今其内情を探るに名は正米組合と云ふも其實二三精米業者が自己の仕入に便せんが爲めの機關にして云はゝ需用者側の組合なるが故其營業振りは自然買方に厚く賣方に不親切を極むる傾きあるは尙恕す可しとするも時に詐欺に等しき惡辣なる手段を以て暴利を貪り荷主に損害を蒙らしむることあり例へば自己等の持米手薄のときは地方荷主が相場に迂なるを奇貨とし頻りに高値の電報を打て廻米を促し軈て米の到着せし頃相場下落を虛構して安値仕切を强ひ其の間暴利を占むることあり之れ實に巧妙なる一種の詐欺にして一ヶ年間廿萬石を消費する京城米穀界のバチルスと云ひ得べく延いて產業の發達を阻害すること決して尠少にあらず其筋の監督を望むと共に名實相反する誇大なる看板を掲げ所謂羊頭狗肉的手段を以て世人を欺かんとする此種のものに對して十分なる制裁を加へられんことを希ふて止まざるなりとの投書あり果して事實ならば不埒至極と云ふべし

●人非人上野保次

▽養父を殺し養母を虐待す

仁川京町仁丁目米穀商上野保次（二九）の養母くに（五七）が養子保次の虐待に堪へ兼ね涙に咽びながら去十日三十年來住馴れたる仁川を後に見て生國對州へ向け出立歸國したる哀れなる物語りこそあれ抑もくには亡夫源作と同じく對州の生れにて緣あつて夫婦となりし以來間もなく仁川に渡來し幾多の風波に揉まれながらも遂に兌く數千圓の蓄財を得たるを以て現在の米穀商を營み稼業大事に勵みたる結果目下は土地家屋等も尠なからず數萬の財産を所有するに至りたるより夫婦の喜び譬ふるに物もなかりしが世の譬に金よりも子寶と云ふ事あるに未だ二人の仲に一子をも擧げたる事なければ早く好き養子を貰ひ老後の看護を托す可き者を備へざる可らずとて詮索の結果現在の保次が未だ七才の折より貰受け蝶よ花よと愛撫したり然るに保次は稍々成長の後は金錢の有るに任せ花柳の巷に出入し湯水の如く蕩盡するより養父母の心痛例ふるに物なかりしが越へて三十九年

養父源作は遂に養子の放埒を苦にして死亡

したり然るに保次は夫れを結句善き事にして誰憚りなく浮れ廻り殊に敷島第二朝日樓の娼妓稱吉（二三）に現を拔かし雨の夜風の日も稱吉の許に通はぬことはなかりき依て二人は度重なるに從ひ情緒蜜の如く末はお定まりの夫婦約束となり昨年の春は稱吉が身の代金三百餘を支拂ひ落籍し吾家の妻となしたるこそ目出度次第なり當時養母は保次にして好たる女と夫婦に成りし曉は以前の如き放埒もなす間敷ければと多少胸撫下し居たるに却て稱吉は遊女の本性を現はし朝夕鏡臺の前にのみ居座りて顏形の化粧に余念なく養母との折合惡しかりしより保次は稱吉に向ひ一時たかめ樓仲居に住込み居れよ其内母は生國へ歸して仕舞ふからと因果を含め置きしにぞ稱吉は一日も早く養母が歸國して保次と同棲せらるゝ樣待構へ居たり然るに一方保次は花町三丁目

別府溫泉

新田安太郎の長女**ふさえ**（十七）に懸想し他人を介して妻に迎へ鴛鴦の番ひ睦ならず養母を虐待する事は以前に增して甚だしくなりたればくにも堪へ兼ね愈歸國と決心し仍て一時金百圓とあと月々五圓宛送付せらるゝ樣申出でたるに保次は無情にも旅費若干を與へしのみなりとてくには口惜涙に暮れて出立せしが此方の稱吉は斯くとも知らず呼くにの歸國せしとの事に喜び勇んで歸宅し見れば豈斗らんや前記の始末に膽を消しスツタ揉んだの大悶着中なりと

●奇特なる高允默氏

▽模範的篤行家

龍山面長なる龍山東幕高允默氏は勤勉力行以て氏一代に殆んど百餘萬の資産を蓄積したる人なるが平素公共事業に碎し併せて慈善心に富みたる好篤の人物にて年々千餘圓を慈善の爲投下し居るとの事にて本年も亦陰曆年末に際し同地面一帶の貧民に對し施米の事を龍山署へ申出でたるは既報の如くなるが十一日紀元節をトし同地面總計二百六十人の貧民に對し白米七石八斗を施米したりと云ふ氏の如きは鮮人に珍敷模範的篤志家と云ふべし

●金男爵家に强盗

▽朴男爵家の嫁女を脅迫

十日午前三時頃中部寛仁坊承洞三十二統六戸男爵金宗漢方に强盗一名棍棒を携へて後房に闖入し房内に就寢し居たる男爵朴箕陽の息婦金姓女を强迫して同人所持の金指輪一個價格二十圓金鍍金銀簪價格四圓を强奪逃走し直ちに該品を南部美洞の鮮人質屋へ十二圓に入質したるを北部署の刑事が現場に殘し置きたる草鞋より探索の緒を得て同日夕刻朴箕陽の下人を嫌疑者として引致し目下取調べ中

●演藝會實行委員

▽日本公園修築費募集

仁川港民有志が日本公園の修築を完成せんとの希望にて之れが費用の收集方法として素人演藝會を開催せんとて十日午後三時三十分發起人會を民團樓上に開催したる結果昨年築港起工式擧行當時の發起人を全部發起人とし更に實行委員として秋田、永井、藤村、八田、萬玉、長野、荻谷、宅、森、河野、前田、奧田、美濃谷、高田、岩崎の十四名を擧げ十三日午後七時右實行委員會を開催する事に決し同五時散會せり

●南大門外の失火　十日午後十一時南部栖井洞二二九の二南相壽所有の家屋にて簞笥商李命順の借用せる物置より發火したるが警官憲兵各消防隊員時を移さず馳け付け消火に努めたれば大事に至らず物置及び簞笥二百個價三百二十圓を燒失したるのみにて十一時四十分鎭火したるが原因は隣家の酒商殿敬浩方溫突の煙筒より飛び火したるものなりと

●轢れた子が消る　十一日午後三時二十分頃南大門通二丁目中原京城支店雇人韓致壽（二五）がメリケン粉十五袋を荷車に積みて永樂町方面に挽き行かんとて本町四丁目にて十二三歳位の少女を轢き足部に微傷を負はせたれば本町派出所の警官韓を引補へたる間に被害者は友達に連れられて何處にか立ち去りたれば嚴しく後來を戒めて放還す

●以後を乾度愼め　某會社雇福井縣人井賀稱二（三三）外三名は十一日午前四時三十分頃何處で飲んだか酔歩蹣跚中の新地に乘り込み常盤樓の入口硝子戸一枚を破りたる上散々暴言を吐き散らし三坂派出所に訴へられたるが全く泥醉の餘り無意識的狂暴の狀態に陷りたるものと判り嚴戒の上損害を賠償せしめて放還せり

●清人の阿片吸飲　仁川府内面八統四戸清國人飲食店業朴仁發（三七）は去九日午後五時三十分京町二丁目清人闞昌順方にて阿片を買求め器具を借受け頻りに阿片吸飲なし居たるを折から京町派出所の山田巡査が現認し直ちに本署に引致し取調の上十二日檢事局へ送らる

●曉に釜蓋を拔く　北部忍坪坊水門洞居河元春（三二）と云ふ窃盗前科者は十一日午後五時頃館後洞劉元植方店頭にて釜蓋一個を窃取逃走せんとする處を捕はれ十二日送らる

（俳諧　新町だより）

▲かつて高島屋に奴と名乘つて横濱仕入の辣腕を振つた日曜樓の白雲は己に三十路を過ぎた姥櫻、流石の四十八手も小皺と油ッ氣をベルツ水で補ふ樣になつては老いては駑馬の譬に漏れず昨今悲觀の極ヒステリーに懸つて煩悶して居る相だが誰れかドロップの一瓶も持て見舞に行くものはないか

寒梅に泣くが病の女かな

▲二月の聲がかゝると流石に廓の夜も淋しくなる、素見ぞめきが衿節に『死なざ止むまい惡性を……』と惚れ／＼する樣な聲で格子を過ぎた昔は淸元に顯はれた廓の淋しみだが、新町の昨今は各樓ともどんだおまおないをして仲居や妓共が客を呼び込む算段をして居るそうだ、

河千鳥寒むい妓が殘りけり

▲第一樓の玉黑と言へば凌雲閣下の横町で人となつた姐さんだが六區仕込の俠腕は宮戸座の大向ならぬ京城の粹客とかの御意に叶つて千客萬來は結構だが昨今此機先を利用して仲居のたりと一狂言書こうと何か切りに諸畫中との趣だが脚本の副主人公たる人物はこゝ暫く名前を預つて置く

ひそ／＼と二人が語る火桶かな

●電車と動植物園

▽馬鹿に不廉は電車賃

十一日は紀元節で而して日曜と衝突しただ加けに天氣は晴朗、慾を云へばアノ風が無かつたら完璧なるものであつたのだ、電車の乘換の五月蠅と不廉のに呆れる、何故斯う不廉いのか現在の大阪は鮮く知らぬが現在の東京は均一の四錢おやないか然るに此の猫の額の樣な所で、南大門から動植物園迄行くのに一人九錢三區分を取られるとは何たる事であらう、東京の電車の未だ馬車鐵たりし明治二十年の頃、一區（新橋より京橋を經て日本橋に至る）二錢半區一錢であつた、即ち新橋（芝濱松町の車庫）から京橋、日本橋、今川橋、萬世橋（目鏡橋）上野を經、淺草から淺草橋を經て本町二丁目に出てさへ十錢で澤山であつた、然るに當京城では南大門から動物園迄行くのに乘換へを二度さして九錢取る、乘換へは切符を新らしくする手段か、南大門より鐘路迄の三錢は不廉ながらも我慢するとして動物園迄の引込線の三錢は殆んど掠奪である、のみならず夏電車を運轉してる、不埒不心得の極だ、聞けはアノ線に乘る客の尠くとも五分の一は**總督府醫院に通ふ患者**が居るのだ、患者と云つても譯るまいが病人が居るのだ、其病人をアノ**夏電車で運搬**されてたまり小坊子があるかいやい昔なら傳馬屋間屋場役人と云はるゝ日韓瓦斯電氣の役人に公衆的とかなんとか云つて見た所で始まらないが總督府醫院の役人達は何故之れに注意を發しないのか月給を貰うに差間へが無いから乘て丶置くのか、諸君は、即上は寺内總督より下は門番に至るまで病氣で休んでも月給は貰へるだらうが平民共の方はソウ緩々御靜養は出來ないのだ、諸君の、即ち役人の月給となるべき稅金を納める爲めにもソウ緩々は御靜養出來ないのだ、病氣なぞは一日よりは一時間で癒して貰いたいのだ、然るに日韓瓦斯電氣は不廉い料金をブッタクリ乍ら夏電車を運轉し、醫官は月給に關係ないか知ら氣を注けない、不都合では無いか、氷滑りや、公園設計なぞよりは此方が先きでムるぞ、イヤハヤ、云へば氣に入らず云はねば判らず困つたものでムる、と思つてる間に電車は漸く動物園前に辿り着いた、此間は乘換切符を出すが至當だ、（呑小生）

諸公信树务 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業　既製洋服卸小賣　諸官衙御用達

京城本町三丁目

大坂野村德七代理店

田中友吉商店　電話九九三　發電略（ク）

勸農旬報

併合以來和氣雍々の間に茲に第二回の新春を迎へ吾農界の前途は倍々日新の曙光を展べ來候處各位の御經營有之候果樹、桑、山林用苗木類移植の好時節も切迫致候際本會社は當局奬勵の方針を體し試驗したる結果成績優良なりと決定し左記種類の苗木を自營苗圃にて養成し廣く高需に應じ可申候間多少に拘らず御用命あらん事を希望致候

果樹苗木
各種一、二年生の別あり

〇苹果苗木
紅魁（早）祝（中）紅玉（晚）柳玉（晚）倭錦（晚）國光（晚）

〇梨苗木
長十郎（早）明月（中）太白（中）晚三吉（晚）今村秋（晚）バートレット（早）ロースチー（中）

〇桃苗木
アムスデンジユン、アレキサンダー、天津水蜜桃、上海水蜜桃、金桃

〇葡萄苗木
歐洲種ブラックハンボルク米國種レデーワシントン其他栗柿等各種あり

〇桑苗木
魯桑接木苗、同實生苗、市平苗赤木接木苗、十文字苗

〇山林用其他苗木
櫟二、三年生苗、アカシヤ苗、落葉松二、三年生、赤松二、三年生苗ポプラー苗梧桐

此外各種の苗木養成罷在候間御出張の上現品を御一覽被下度候尙農業蠶用具類純良蠶種又昔り石丸靑熟種及肥料類各種販賣可仕候間御用命被下度候

營業目錄及定價表は御一報次第進呈可仕候

京城旭町二丁目（電話三二八八番）
振替貯金京城三七八番

朝鮮勸農株式會社

破格大割引廣告

謹啓本遊廓も創業以來各位の深大なる御同情に仍り茲に四星霜を歸し候段厚く奉謝候就ては今回大門建設落成と同時に各樓共是に及器具等設備改善仕り御披露旁々勵かひ祝意を表する爲め左の通り破格の大割引大勉强仕り候間多數御散歩旁々御愛顧の程伏して奉願上候　再拜

破格大割引台附　一金貳圓也

二月　日

仁川猫島遊廓
（北の新地）

（いろは順）
日本亭（電話四三二番）
爾古島樓（電話三一三番）
南海樓（電話六一〇番）
松山樓（電話七一二番）
二葉樓（電話三〇〇番）
壽樓（電話六〇四番）
金榮樓（電話七一番）
湊屋（電話架設中）
七福樓（電話四四〇番）

釀造元兵庫縣灘
江井ヶ島酒造株式會社

優等銘酒　一正　ユリマサムネ

發賣元　京城南大門通二丁目
百合正宗京城支店
電話一五一五番

商標
三味噌
京城南大門通二丁目
製造元　遠藤商店
（電話九八二番）

元祖
食パン
菓子パンアンパン各種
總督府各官衙御用
陸軍御用
製造卸小賣商
京城太平町二丁目
相川兄弟商會（電話一八九番）
釜山富平町一丁目
相川兄弟商會支店（電話二七六番）

東宮殿下御料牛乳
京城博覽會一等賞金牌
洋種乳牛及朝鮮牛賣買
牛皮牛骨の賣買
入院隨意　京城家畜病院
種豚山羊家禽種卵賣買
多木肥料販賣代理店
京城古市町九番戶
朝鮮畜產株式會社
電話八八番

直輸入元
酒精アルコール
仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）振替口座京城五八二
坂倉支店

天下一品
白鶴
灘淸酒相場非常ノ昇騰致候爲無止二月一日ヨリ大樽一挺ニ付キ
金壹圓也
直揚ケ仕候不相變御愛顧奉願上候
　敬具
四十五年一月
嘉納合名會社
御影、大坂、大連、安東縣

精神
感應（催眠術）（無催眠）諸病治療惡癖矯正
南山町二丁目六十四番戶ノ二
大剛庵

M.C.C.
土耳古卷紙
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

板材木竹類販賣並に製材請負煉瓦砕表類、日本舖塗料
株式會社製品販賣
京城古市町二丁目
堀內商會京城支店材料部
電話一〇一一番
振替口座京城二〇六番

牛馬犬猫
治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長小川彥太郎
小川家畜醫院
電話四二七番

くだり病一切の特効藥
健胃固腸丸
本劑ハ全國到る所の賣藥店に取次販賣せり

發賣元
大阪市東區伏見町堺筋角
本舖谷回春堂
（電話東四五八番）
（振替貯金番號八三〇）
代理店　京城南大門通三丁目
新井栗房
電話九〇四番
振替口座京城一〇六八番

淺田飴
喘息病（ぜんそく）肺病（はいびやう）起るたんせき
咽喉（のど）をうるほし聲を發せしむ
病後（びやうご）のよわり
貧血性（ひんけつせい）諸症
本舖東京大阪堀內
せきにこれであまくて口あたりよし
代理店　京城南大門通三丁目
新井栗房
電話九〇四番
振替口座京城一〇六八番

大坂瓦斯コークス並に器具一式
國定教科書文房具販賣
仁川新町二丁目
百崎金港堂
電話五百八番

朝鮮名產
人蔘漬
補血强壯無比の珍菓
人蔘漬
人蔘蜜漬
人蔘飴
製造元
海市商會
（振替口座京城四八番）
本店　京城本町三丁目（電話二五〇番）
第一支店　同本町一丁目（電話一三五四番）
第二支店　同本町五丁目（電話三二二番）
大邱支店　大邱元町一丁目（電話三三〇番）
木浦支店　木浦銀座通
工場　京城永樂町一丁目（電話一九〇二番）

完全なる懷中藥
優秀なる口中香劑
JINTAN
仁丹
精神を快活に、胃腸を強健に食事を進め
酒タバコの毒をけし味を增す
諸君欠かさず御服用あれ
朝鮮代理店
京城新井栗房

創立明治五年六月
資本金　百二十五萬圓
積立金　六十万七千圓
貨物運送取扱
危險擔保運送
貨物引換證發行
品代金貨物取扱
稅關貨物取扱
內國通運株式會社京城支店
本店　東京市日本橋區佐內町三番地
支店　京城南大門驛前（電話長一七九、一〇八、一二五）
釜山出張所　釜山驛前（電話三五七）
草梁出張所　草梁驛前（電話九〇四、六一六）
仁川出張所　仁川驛前（電話長二一、二六）
龍山派出所　龍山驛前（電話五一一）
平壤出張所　平壤驛前（電話二〇六）

弊舘には夜警の設備有り
眺望の好き事
陸軍指定旅館
鐵道院指定旅館
仁川水產組合指定旅館
第一各保險會社指定旅館なり
御客樣の安全此の上なし
仁川海岸
旭屋旅館
電話二五一

政宗
正則
淸正
釀造元
酒
小賣壹升に付三十五錢
御賣は特別割引可仕候
京城壽町三丁目
釀造元中井酒造場販賣部
電話百七十七番
淸酒味淋燒酎並に日用食料品雜貨類
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして迅速致さすべく候

英國セフヒールド市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用　地球鷲印八角鋼
道具用　同　角磨鋼
職工用　同　鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處淸鮮地に材質堅硬製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候
和洋金物商
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
（電話四五番）電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

東京流納豆大安賣

特製
寶味噌
御料理向
味噌製造漬物問屋
仁川本町三丁目
たからや
電話七三七番

キ
荷客取扱所
合名會社秋田商會船舶部
三省丸　仁川本町四丁目　二月十三日前時
天草丸　二月十日前時
成歡丸　二月十一日前時
海利丸　二月十九日前時
三省丸　二月二十三日前時
仁川本町一丁目　電話七五〇番
仁川本町海岸通　秋田商會船舶荷捌部　電話四一九番
仁川本町四丁目　柴田回漕店　電話五二二番
山本回漕店

二月中瀛船出帆廣告